



市立図書館では1月31日まで佐藤雅彦さんの著書や関連書籍を集めた特別コーナーを設けています。

熱中しているもの、
真に求められているもの

【市長】 戸田の海はとても魅力的ですよ。昨年には、桟橋のすぐ近くに1階がバーラウンジ、2階・3階に客室を持つ宿泊施設がオープンしました。外国から訪れる人にも利用されているようで、戸田の魅力を多くの人に伝える新たな場所となっています。

【佐藤】 そうですか、それは誇らしいですね。ところで市長は何かに夢中になった経験はありますか。

【市長】 子供の頃はプラモデルです。ものづくりが好きでした。最初は説明書どおりに作り、次はそれをバラして、勝手に新しいものを組み立てる。そのうちテレビやラジオの真空管の仕組みが気になって分解してしまい、親から叱られましたね。

【佐藤】 既成のものを壊し、そこから新しい価値を生み出すのは、とても大切ですし、面白いですね。

沼津の恵まれた
環境を活かすには

【市長】 沼津は商都として県東部の拠点的な役割を担ってきました。西武百貨店の地方初出店は沼津でした。しかし、中心市街地に集まっていたいろいろな機能が外に出ていってしまっている現状があります。それに伴って、市民の皆さんの沼津に対する自慢とか自信が減退している気がします。

【佐藤】 子供の頃、駅前に西武百貨店ができて、豊かさに希望を感じました。戸田村から定期船に乗って、沼津に買い物に出るのはまさにハレの日の楽しみでした。しかしながら、時代の流れか、ちょっと静かな感じですね。

【市長】 そうなんです。今まさに中心市街地に賑わいと呼び戻す取り組みを進めています。一方で沼津全体を見ると、人工物ではない豊かな自然が当たり前に存在しています。しかも、世界文化遺産である富士山や「世界で最も美しい湾クラブ」のひとつである駿河

【市長】 そうなんです。大学に進学してからは建築を学び、デザインにも親しみました。市長という職は畑違いのようですが、まちづくり、シティブランニングという点では、デザイン、ものづくりと一緒に思っています。

【佐藤】 英語の「Study」は、ラテン語の夢中、熱中を意味する「studios」が語源です。自分で熱中するから身につく。熱中できるものがこの世界にあれば、自分の存在も肯定できるようになります。

【市長】 「熱中しているものこそ、真に求めているもの」という言葉もありますね。佐藤さんは遊びに熱中した子供の頃に、その後の作品作りに繋がるような経験はありますか。

【佐藤】 浜の薄暗い網小屋で遊んでいた時、偶然アニメーションの原理を体感しました。身をかがめながら壁板の

湾、世界的観光地の箱根など、世界レベルのものが揃っています。これらの中心に位置していることが、沼津の魅力のひとつです。沼津には産業や観光振興のポテンシャルがある。でも、ここにいるとその良さがつきにくく、非常にもったいないと感じてしまうんです。

【佐藤】 市長としては、観光客を増やしたい、産業や商業を盛んにしたいなど、何をしたいとお考えですか。

【市長】 工業と教育の連携では、沼津高専の優れた教授陣や優秀な人材を、市内の教育で活用する計画があります。また東海大学の跡地に静岡県が作った「AO-PARC」では、190社の企業に慶應義塾大学と理化学研究所も加わった「AOフォーラム」が、農業に特化した技術開発やビジネス展開を進めているところですね。

【佐藤】 僕がいた慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスの研究室も参画しているんですね。

【市長】 はい。沼津から革新的な技術

隙間から外を見ると、漁師たちがパラパラ漫画のように動いてたんです。「今のは何だ！」と大興奮でした。他には、餌のついていない釣り針を海に沈めて、想像力だけで魚を釣り上げようとした。戸田で作り出した遊びについて「何が楽しかったんだろう」とずっと考え続けて、大人になってから結論が出る、そんなことが多いですね。



が生まれることを期待しています。さらに言えば、特定の産業の振興はもちろんのこと、沼津ならではの良きところにもう一度目を向けて、その魅力をまちづくりに活用するために、市民の皆さんの心IIプライドを盛り上げたいと考えています。

【佐藤】 自主性やプライドを育むのは、やはり教育だと思います。例えば、高校卒業後、1年間は市内の企業でインターンをしてから大学に進学するとか民間の教育機関と連携して市民大学の充実を図るのもいいかもしれません。

【市長】 沼津では明治初期に江原素六先生らが沼津兵学校を創設し「留学するなら沼津」とまで言われた時代がありました。その精神は今の沼津第一小学校に引き継がれています。江原先生は、沼津西高校などその後この地域に多くの学校を創ります。沼津には近代日本の教育の原点があるんです。教育面での先進地であったということも活用し「誇り高い、元気なまち 沼津」の実現に繋がりたいですね。

